



応募論文から

論文賞

「ともに生きる」人生をめざして

サビエル高等学校2年 池田 穂乃香(SI 宇部 推薦)

入学して三ヶ月。校内掲示板にある一枚の紙に食指が動いた。[カンボジア・スタディーツアー]とある。こんなチャンスはまたとない。行ってみたい！

すぐにカンボジアについて調べてみた。すると、そこには知らない世界が広がっていた。貧困、地雷、痛ましい過去の歴史……。ますますこの国に対する思いが強くなり、反対する親を説得し、昨年八月、カンボジアに飛び立った。

そこには想像を絶する衝撃的な光景が待っていた。衛生環境の悪さ、物乞いに走る多くの子供たち……。来たのは間違いだったか。一瞬、ためらったが、こうしたマイナス要因とはうらはらに、現地で働く一人の日本人女性との出会いに、将来への道が開かれる思いがした。彼女は貧しい人々に寄り添い、満面の笑顔で、彼らと「ともに生きて」いた。

彼女は言った。

「夢はね、自分の思いを信じれば叶うよ。」その一言で、私は一大決心をたてたのだ。

「将来はカンボジアに行き、弱い立場に置かれた人々に寄り添い、途上国での法整備の手伝いをしよう」、と。

不安がないとはいえない。実現できるかどうかは今も分からない。しかし、彼女の一言と、彼女自身の生き方が、私の夢と決意を実現させる希望の灯となった。

私は今、生徒会長を務めている。新年度の方針を考えながら、次のようなスローガンをたてることになった。

[Think and Move]

「何をなすべきかを考え、行動に移そう」。

これは、「他者のために、他者とともに生きる」という学校の教育理念に叶う考え方であり、同時にカンボジアでの決意を忘れないように、との自戒も込められている。「ともに生きる」人生をめざす夢を実現してみせる。